| 学校番号 | 3009 |
|---|---|

# 令和８年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育科 | 科目 | 保健 | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 『現代高等保健体育』（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 『現代高等保健体育ノート』（大修館書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて理解しよう。
・日常生活で直面する健康の課題を見つけ、その解決方法を考えよう。
・健康や安全についての社会的な取組みや個人の対応について理解し実践しよう。
・講義を中心に行い、単元によっては研究発表や実技授業、レポート提出があります。

## ２　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代社会と健康、安全な社会生活について理解し生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
日常生活で直面する健康の課題を見つけ、その解決方法を考え、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】
健康や安全についての社会的な取組みや個人の対応について理解し実践しようとしている。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識や技能を身に付けるようにする。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりをめざし、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 生涯を通じる健康 | ライフステージと健康<br>思春期と健康<br>性意識と性行動の選択<br>妊娠・出産と健康<br>避妊法と人工妊娠中絶<br>結婚生活と健康<br>中高年期と健康<br>働くことと健康<br>労働災害と健康<br>健康的な職業生活 | a:生涯を通じる健康について理解を深めること。<br>生涯の各段階の健康課題を理解すること。<br>労働環境や起因する傷害や職業病などを理解すること。<br>b:生涯を通じる健康に関する知識や情報から課題を発見し、健康に関する原則や懸念に着目し解決の方法を思考し判断し、表現すること。<br>c:自己の健康管理及び環境づくりを行うこと。<br>自己の安全管理を行うこと。 | 定期考査<br>レポート<br>ﾉｰﾄ提出 | 定期考査<br>授業観察<br>レポート<br>ﾉｰﾄ提出 | 授業観察<br>レポート<br>ﾉｰﾄ提出 |
| | | 研究発表 | a:グループまたは個人において、学習内容をより深く探究する。また、その学習を知識としてだけでなく実践できるようにする。<br>b:プレゼンテーションの方法を工夫し研究方法や研究結果、自らの考えなどを導きだす。また、発表を通じて他者に伝える力を養う。<br>c:研究についての取組み方をはじめ、生涯を通じての健康・安全への意識をもって取り組む。 | レポート | 授業観察<br>レポート | 授業観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 健康を支える環境づくり | 大気汚染と健康<br><br>水質汚濁、土壌汚染と健康<br><br>環境と健康にかかわる対策<br><br>ごみの処理と上下水道の整備<br><br>食品の安全性<br><br>食品衛生にかかわる活動<br><br>保健サービスとその活用<br><br>医療サービスとその活用<br><br>医薬品の制度とその活用<br><br>さまざまな保健活動や社会的対策<br><br>健康に関する環境づくりと社会参加 | a:健康を支える環境について理解すること。<br>人間生活と産業活動、自然環境を理解し、環境が健康に適した基準を把握すること。<br>食品の安全基準を把握すること。<br>健康に関する保健・医療制度の理解と医療機関・医薬品等の適切な活用について理解すること。<br>b:健康を支える環境や制度を理解し、健康に関する原則や懸念に着目し解決の方法を思考し判断し、表現すること。<br>c:自己の健康管理及び環境づくりを行うこと。<br>自己の安全管理を行うこと。<br>適切な情報の活用をすること。 | 定期考査<br><br>レポート<br>ﾉｰﾄ提出 | 定期考査<br>授業観察<br>レポート<br>ﾉｰﾄ提出 | 授業観察<br>レポート<br>ﾉｰﾄ提出 |
| | | 研究発表 | a:グループまたは個人において、学習内容をより深く探究する。また、その学習を知識としてだけでなく実践できるようにする。<br>b:プレゼンテーションの方法を工夫し研究方法や研究結果、自らの考えなどを導きだす。また、発表を通じて他者に伝える力を養う。<br>c:研究についての取組み方をはじめ、生涯を通じての健康・安全への意識をもって取り組む。 | レポート | 授業観察<br>レポート | 授業観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度